

県議会議員講座「これにちは！県議会です」

開催概要

令和7年10月22日（水）16:00～16:50
宮崎県立都城西高等学校 3年生186名

講師：野崎 幸士 議員
工藤 隆久 議員



【開催内容】

- ①学校あいさつ
- ②講師自己紹介
- ③県議会の役割や仕組みなどについて
- ④意見交換
- ⑤生徒代表挨拶

【講師】



野崎 幸士 議員
宮崎市選挙区
自由民主党



工藤 隆久 議員
延岡市選挙区
公明党



講師である野崎幸士議員と工藤隆久議員が自己紹介の後、議会の役割や仕組みについてお話ししました。

また、今回は、都城西高等学校3年生を代表して5人のパネリストが「宮崎県の地域活性化について」をテーマに、議員と意見交換を実施しました。

【意見交換】

□1 バス減便、過疎地域の交通手段対策

地元のバスの減便や利用者の減少が深刻であり、人口減少や車社会、運転手不足が原因だと考えています。



堀内 さん

特に学生は運転ができないため、オンデマンド交通等を都城市や三股町にも導入し、SNSや学校でのアピールを通じて住民が利用を促進することで、地域全体で支える交通になるのではないのでしょうか。どういった政策が必要だと考えますか。



野崎 幸士 議員

オンデマンド交通は有効な手段ですが、若者だけでなく、高齢者の利便性向上（買物や病院への移動）も課題であるため、高齢者も使いやすい仕組みにして、利用を広げていくことが重要です。

県の取組として、中山間地域でのバスによる荷物輸送（貨客混載）、バス無料デーの実施、65歳以上が200円で乗れる「スマート65」制度（市町村によっては100円）や運転手不足解消に向けた補助も行っています。

□2 県内の歴史的建造物（史跡）について、来場者を増やすために

探究活動の中で、都城市内の歴史的建造物である都城島津邸の来館者が減少していることを知りました。



私は演劇部に所属し、イベント開催では来館者を増やした経験があります。その経験を活かし、今後もイベント開催を継続したいと考えています。宮崎県内の歴史的建造物の来館者減少についてどうお考えですか。

大迫 さん



工藤 隆久 議員

歴史とストーリーが大事だと思います。「ツール・ド・九州」のような九州全体をつなげたイベントを行い、島津発祥の地である都城と鹿児島（島津家）を結びつけるなど、観光地同士をストーリーでつなげて、宮崎県内を周遊してもらい、島津邸に足を運んでもらう取り組みが必要ではないでしょうか。



野崎 幸士 議員

県が管理する文化財は18カ所あります。都城島津邸は市が管理していますが、県もイベント時に支援したり、旅行会社とタイアップしてPRしたりしています。

島津邸に一番詳しいのは地元の方なので、積極的にアイデアを出して発信していってほしいです。

□3 県内の観光地について、海外からの観光誘致

将来、日本の歴史や文化を英語で紹介したいという目標があります。

観光誘致の手段として、SNSの積極的な活用（言語に関係なく、印象を残すことができる写真など視覚的に訴える投稿）が必要と考えています。



松元 さん

同時に、迷惑客（富士山での観光客による危険な場所での撮影、ゴミ投棄などのマナー違反）の対策として、注意喚起や多言語対応の現地スタッフを配置する必要があると考えています。

海外からの観光誘致や迷惑客の対策をどう考えていますか。



野崎 幸士 議員

海外事務所ではPR、SNS対策も行っていますが、「インバウンド」だけでなく、こちらから海外に出向く「アウトバウンド」の姿勢も必要だと考えます。

また、「スポーツランド宮崎」として、スポーツキャンプや大会の誘致に力を入れており、企業や大学のキャンプや国際的な大会の開催も増えています。さらなる宿泊施設や交通網の整備も課題です。

本県でも、海外からの観光客が増えている地域では、住民とのトラブルも発生する可能性があるため、警察や住民と意見交換を通じて、共生のためのルール作りが重要だと考えます。



工藤 隆久 議員

宮崎の観光の強みは「神話」。古事記や神秘的な自然を多言語で訴えていくことが重要です。

日本の文化、ルール（電車内での通話禁止など）を理解してもらうため、ガイドブックやルールブックを国や県が主導して作成し、しっかり教えていくことが必要です。

また、外国人観光客に対し、日本人側からも積極的に声かけを行い、日本のマナーを丁寧に教える寛容な姿勢も大切だと考えています。

□4 農家の高齢化・後継者不足、農家を持続可能で魅力ある働き方とするには

探究活動で農家や事業者と直接対話し、高齢化と後継者不足が深刻な課題であると実感しました。毎日食べている食事や都城市を支えているふるさと納税は農家に支えられています。

補助金だけではない根本的な対策として、若者が農業をキャリアとして選択できるような環境や政策が必要だと考えています。今後の展望などはありますか。



木野田さん

農業は極めて重要な産業です。日本の人口は減っていますが、世界の人口は増えています。日本の食料自給率は低いため、食料危機のリスクが高く、農業の持続可能性が不可欠です。

若者にとって魅力的な農業とするためには、まず、農作物の適正価格、本来の生産コストを反映した価格設定を行い、所得を上げることです。これは、消費者の意識改革も必要です。また、大型の農地で無人のトラクターやドローンなどを活用する「スマート農業」は、若者にとって得意分野であり、参入しやすいと思います。汚れて汗をかくといった旧来のイメージも払拭できます。みなさん、野菜と肉をたくさん食べてください。



野崎 幸士 議員

□5 高齢者の事故増加、運転免許返納への環境整備

高齢化が進む中で運転免許返納者等の増加が見込まれるとともに、免許の保有率や免許を返納する年齢が高い傾向にあります。

今後、宮崎県に求められること、また、現在の施策を教えてください。



大路さん

高齢者の事故は全体の3割程度であるため、「若者より高齢者の事故が多い」というイメージは消してもらえた…。



野崎 幸士 議員

免許返納促進策として、返納者へのメリット（ホテル割引、施設無料利用など）を提供しています。また、「制限運転宣言」（雨天時運転を避ける、通学時間を避けるなど）の推進やサポートカー（衝突被害軽減ブレーキなど）の普及促進を行っています。

高齢者が免許を返納できないのは、買物や病院への交通手段がないことが大きく、交通手段の確保も課題となっています。祖父母に「安全運転してね」「雨の日は乗らないでね」といった声かけをしてほしいです。



工藤 隆久 議員

免許返納が進まない理由の一つは、買物や病院への交通手段の不便さがあります。中山間地域における「ラストワンマイル」の移動手段確保が課題です。

県は移動手段確保の取り組みとして、移動販売車（食品などを積んで販売）への補助、宅食サービス（夕食などを届ける）の推進、免許返納者向けのバスやタクシーの割引制度を実施しています。

免許がなくても生活に困らないよう、訪問看護や訪問介護の推進、入院せずに地域で最期を迎える体制づくりなどを、国や県も進めているところです。

【生徒代表挨拶】

議会の仕組みや役割、議員の活動内容について、授業で学ぶだけでは分からなかった具体的な内容を知ることができました。

特に、議員が明確な目標と目的を持って地域活性化に取り組んでいることに感銘を受け、学生と議員が直接意見交換できる貴重な機会になりました。

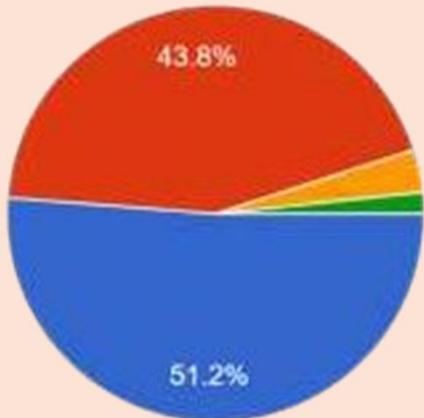
卒業後、地元を離れる生徒もいますが、地元にいる間に少しでも地元に貢献していきたいと思います。



釘田 さん

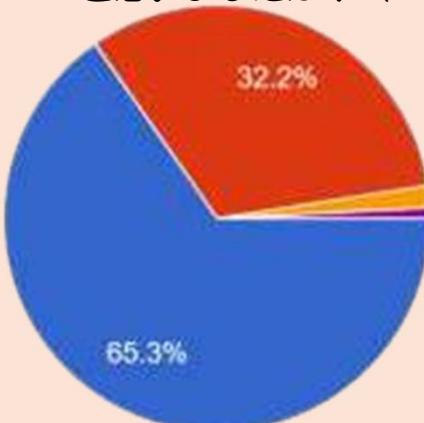
受講された生徒の皆さんからのアンケート結果 ※121件の回答

問1 講座の内容はわかりやすかったですか？
(1つ選ぶ)



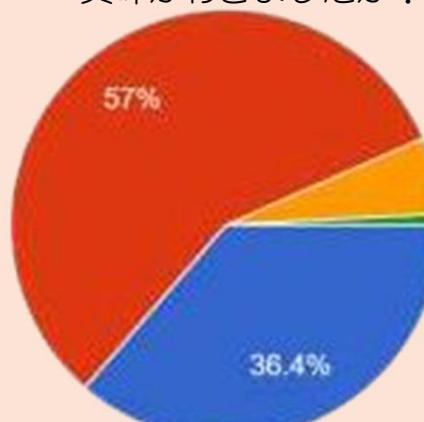
- よくわかった
- わかった
- あまりよくわからなかつた
- わからなかつた

問2 有権者になつたら投票に行ってみたい
と思いましたか？ (1つ選ぶ)



- ぜひ行きたい
- できれば行きたい
- あまり行きたくない
- 行きたくない
- 時間があれば

問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に
興味がわきましたか？ (1つ選ぶ)



- とても興味を持った
- 少し興味を持った
- あまり興味を持てなかつた
- 全く興味を持てなかつた

問4 この講座で興味深かった内容、
県議会や議員の活動について、意見・
感想を自由にお書きください。

(一部抜粋)

● 議会の仕組みや役割、県民の意見がどのように県政に届いているのか初めて知りました。今回の話を聞いてより政治について深く知ることができたので良かったです。まだ誕生日が来ていなくて17歳ではありますが、18歳になったら選挙に行きたいと思います。

● 正直、議員さんがどんな活動をしているのかあまり知らなかったのですが、今回の講座で宮崎県のことを考えてたくさん活動をしてくださっていることを知りました。また、高校生との意見交換会では、課題の解決策を考えると、また新しい課題が出てきてと課題は尽きないなーと思いました。でもそこを諦めずに議員さんはじめ、私たち学生が自分たちの地域に関心を持ち、良くしていこうと考えることが大切なと思いました。

● メモやカンペ無しで生徒の話に答えていて、熱意を持って仕事に取り組んでいるんだなと思いました。明確な目標を持って仕事に励むことは大事な事だと思いました。

● 県議会の方はとても厳格であると考えていましたが、お話を聞くうえでとても親しみやすくて楽しく聞けました。

● 県の議員さんはみんなの声を届けようと必死になって頑張っているのを話を聞いてよくわかりました。みんなからの質問にも素早く細かいところまでレスポンスしていて、知識量の多さや、それをうまく言語化している部分などとてもすごいなと思いました。

とても貴重な時間になりました。



県立都城西高等学校の皆さん、ありがとうございました！